

## 『創造都市を創造する』

### 3 1. 創造都市研究科 2007 年度向け夏季キックオフシンポジウム（重点関連）『創造村をつくろう！』

【日時】2006年6月17日（土）18：30～21：00

【会場】大阪市立大学文化交流センター大ホール（参加自由、参加料無料）

【主催】大阪市立大学大学院創造都市研究科

【協力】大阪市

【後援】扇町創造村村議会、老松西天満アートストリート会

#### 【プログラム】

■研究科長挨拶（18:30～18:40）佐々木雅幸 創造都市研究科科長・教授

■委員長趣旨説明（18:40～19:00）塩沢由典 重点研究委員長・教授

■プレゼンテーションとパネルディスカッション（19:00～20:40）

コーディネーター 塩沢由典 重点研究委員長・教授

川瀬哲也氏（大阪市経済局新産業支援担当課長）

山納洋氏（大阪21世紀協会チーフプロデューサー）

小原啓渡氏（大阪芸術創造館館長）

佐藤友美子氏（サントリー一次世代研究所部長）

■大学院説明（20:40～21:00）

司会：小長谷一之 教授

#### 【趣旨】

関西都市圏の活性化をめざして設立された大阪市立大学大学院創造都市研究科では、毎年2回各界の専門家をお招きして、8研究分野の連続シンポジウムを行っています。そのスタートに際して、キックオフシンポジウムを開催しております。本年度は、創造都市研究科が全体として取り組んでいる重点研究「創造都市を創造する」の中間報告『創造村をつくろう！』の刊行にあわせて、大阪の創造都市戦略を考えます。大阪のような巨大都市を創造都市にするためには、各区で創造的な街区をつくり、そこで市民の創造性を発揮することが大切と考え、そのようなまちを「創造村」と名付けて地域のみなさんと協働を進めています（特に、大学院が所在する大阪市北区は、大阪市の芸術文化系の産業や機能の過半が集積している一大拠点であり、特に北区をパイロットモデルとして活性化する試みを「扇町創造村構想」として推進しています）。こうしたことをふまえて、各界の有名な専門家と、「創造村」をキーワードに、大阪再生の方策を議論してまいります。ふるってご参加ください！

■川瀬哲也（かわせ てつや：大阪市経済局産業振興部新産業支援担当課長）：

1982年大阪市役所奉職。大阪市経済局にて、1999年開設のソフト産業プラザイメディオ、2001年開設の大阪産業創造館の設立に関わる。2002年大阪市立大学にて産学官連携事業の企画立案。2006年よりロボット産業など新産業の創出を担当する。

■山納 洋（やまのう ひろし：（財）大阪21世紀協会コラボレーションセンター・チーフプロデューサー）：

1993年大阪ガスに入社。1996年より「神戸アートビレッジセンター」勤務、1997年より「扇町ミュージアムスクエア」で最後のマネージャー（館長）を勤める。2003年より大阪市のインキュベーション施設「メビック扇町」で所長補佐（コラボレーションマネージャー）として「扇町クリエイティブカレッジ（OCC）」などを企画運営、2006年より大阪21世紀協会において企画・プロ

デュース業務を担当する。一方で、トークサロン企画「扇町 Talkin' About」、日替わりマスター制のバー「Common Bar SINGLES」、カフェ空間のシェア活動「common cafe」などをプロデュースしてきた。

■小原啓渡（こはら けいと：大阪芸術創造館 館長、アートコンプレックス 1928 代表）：

兵庫県出身。1999 年「アートコンプレックス 1928」を立ち上げ、プロデューサーに就任。劇場プロデュースの他、投資家から出資金を集めて公演を行なう「文化支援ファンド」の設立、長期滞在アーティストのための宿泊施設「AIR 京都」の運営、大阪の造船所跡地をアートスペース「ブラックチェンバー」にするプロジェクト等、芸術環境の整備に関わる活動が続ける。その他にも、文化芸術を都市の集客や活性化につなげる数々のプロジェクトを打ち出している。2006 年、指定管理者として大阪市立芸術創造館の管理運営を始め、館長に就任。著書に『クリエイター50 人が語る創造の原点』（論創社）。

■佐藤友美子（さとう ゆみこ：サントリー次世代研究所 部長）：

1975 年サントリー株式会社に入社。1989 年サントリー不易流行研究所の設立メンバーとなり、1998 年 3 月より部長を勤める。不易流行研究所は 2005 年 3 月次世代研究所に名称変更し、次世代が希望を持って幸せに生きていくための調査研究を行っている。その他、国土交通省交通政策審議会委員、文部科学省中央教育審議会委員等を務める。共著に『U35 世代 僕と仕事のビミョーな関係』（日本経済新聞社）、『変わる盛り場 私がつくり遊ぶ街』（学芸出版社）等がある。

# 創造村をつくらう!

Kick off Symposium

日時 2006年6月17日(土) 18:30 ~ 21:00

会場 大阪駅前第2ビル6階  
大阪市立大学文化交流センター 大ホール(参加自由、参加料無料)

関西都市圏の活性化をめざして設立された大阪市立大学大学院創造都市研究科では、毎年2回各界の専門家をお招きして、8研究分野の連続シンポジウムを行っています。そのスタートに際して、キックオフシンポジウムを開催しております。

本年度は、創造都市研究科が総力を挙げて取り組んでいる重点研究『創造都市を創造する』の中間報告『創造村をつくらう!』の刊行にあわせて、大阪の創造都市戦略を考えます。

大阪のような巨大都市を創造都市にするためには、各区で創造的な街区をつくり、そこで市民の創造性を発揮することが大切と考え、そのようなまちを「創造村」と名付けて地域のみなさんと協働を進めています(特に、大学院が所在する大阪市北区は、大阪市の芸術文化系の産業や機能の過半が集積している一大拠点であり、特に北区をパイロットモデルとして活性化する試みを「扇町創造村構想」として推進しています)。

こうしたことをふまえて、各界の有名な専門家と、「創造村」をキーワードに、大阪再生の方策を議論してまいります。ふるってご参加ください!

## プログラム

- 研究科長挨拶 (18:30 ~ 18:40) 佐々木雅幸 創造都市研究科長・教授
- 趣旨説明 (18:40 ~ 19:00) 塩沢由典 重点研究委員長・教授
- プレゼンテーションとパネルディスカッション (19:00 ~ 20:40)
- コーディネーター 塩沢由典 重点研究委員長・教授

## Profile



かわせ てつ や  
**川瀬 哲也**  
大阪市経済局産業振興部  
新産業支援担当課長

1982年大阪市役所奉職。大阪市経済局にて、1999年開設のソフト産業プラザイメディオ、2001年開設の大阪産業創造館の設立に関わる。2002年大阪市立大学にて産学官連携事業の企画立案。2006年よりロボット産業など新産業の創出を担当する。



やまのう ひろし  
**山納 洋氏**  
(財)大阪21世紀協会  
コラボレーションセンター  
チーフプロデューサー

1993年大阪ガスに入社。1996年より「神戸アートビレッジセンター」勤務。1997年より「扇町ミュージアムスクエア」で最後のマネージャー(館長)を勤める。2003年より大阪市のインキュベーション施設「メビック扇町」で所長補佐(コラボレーションマネージャー)として「扇町クリエイティブカレッジ(OCC)」などを企画運営。2006年より大阪21世紀協会において企画・プロデュース業務を担当する。一方で、トークサロン企画「扇町Talkin' About」、日替わりマスター制のバー「Common Bar SINGLES」カフェ空間のシェア活動「common cafe」などをプロデュースしてきた。



こはら けいと  
**小原 啓濤**  
大阪芸術創造館 館長、  
アートコンプレックス1928  
代表

兵庫県出身。1999年「アートコンプレックス1928」を立ち上げ、プロデューサーに就任。劇場プロデュースの他、投資家から出資金を集めて公演を行なう「文化支援ファンド」の設立、長期滞在アーティストのための宿泊施設「AIR京都」の運営、大阪の造船所跡地をアートスペース「ブラックチェンバー」にするプロジェクト等、芸術環境の整備に関わる活動を続ける。その他にも、文化芸術を都市の集客や活性化につなげる数々のプロジェクトを打ち出している。2006年、指定管理者として大阪市立芸術創造館の管理運営を始め、館長に就任。著書に『クリエーター50人が語る創造の原点』(論創社)。



さとう ゆみ こ  
**佐藤友美子氏**  
サントリー次世代研究所  
部長

1975年サントリー株式会社に入社。1989年サントリー不流行研究所の設立メンバーとなり、1998年3月より部長を勤める。不流行研究所は2005年3月次世代研究所に名称変更し、次世代が希望を持って幸せに生きていくための調査研究を行っている。その他、国土交通省交通政策審議会委員、文部科学省中央教育審議会委員等を務める。共著に『U35世代 僕と仕事のビミョーな関係』(日本経済新聞社)、『変わる盛り場 私がつくり遊ぶ街』(学芸出版社)等がある。

○ 大学院説明 (20:40 ~ 21:00)

○ 司会 小長谷一之 教授

(参考1) 重点研究『創造都市を創造する』の経緯については、創造都市研究科のサイト <http://www.gscoc.osaka-cu.ac.jp/souzou/index.html> をご覧ください。

(参考2) 『創造村をつくらう!』(晃洋書房)大阪市立大学2005年度重点研究『創造都市を創造する-扇町創造村』(成果)

第1部 扇町創造村構想について(第1章) 創造村をつくらう-構想の趣旨(塩沢由典) 第2章 単なるイベントで終わらない街おこしのために(岡藤芳樹)

第2部 創造村をめざす大阪市北区(第3章) 北区の創造的活動と創造的街区(小長谷一之・田中登・牛塚智、第4章) M E B I C 扇町から見えてきたこと(山納洋、第5章) 中津実験劇場-カードスペースの活用(西尾元成、第6章) 大阪の制作活動(大沼由紀、第7章) 創造都市における商店街の役割(石崎慎一)

第3部 21世紀の経済と新産業創造(第9章) 21世紀の産業構造と産業育成(塩沢由典、第10章) 都市型クラスタ-の形成(前田昇、第11章) コンテンツ産業育成の課題(近藤彦、第12章) 大阪を創造都市に(佐々木雅幸)

問い合わせ先  
大阪市立大学大学院 創造都市研究科 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
TEL. 06-6605-3507 FAX. 06-6605-3488  
ホームページアドレス <http://www.gscoc.osaka-cu.ac.jp/>



Graduate School for Creative Cities  
Osaka City University  
大阪市立大学大学院  
創造都市研究科